

5月 臨時教育委員会会議録

- | | | | |
|---|-------|---------------------------------|--------------|
| 1 | 日 時 | 平成30年5月23日(水) | 午後5時から午後6時まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 | 教育長室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
秋元富敏委員 杉本憲司委員 鈴木好美委員 | |
| 4 | 出席職員 | 秋野雅彦教育部長 藺田欣也教育総務課長 小澤一則学校教育課長 | |
| 5 | 傍 聴 人 | 0人 | |

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

5月18日の件につきまして、教育委員の皆様にも、多大なる御心配をおかけし、誠に申し訳ありません。女子生徒が3階から転落し、ドクターヘリで緊急搬送されました。転落した生徒の状況は、顔面右側及び顎の骨折により、外科的手術が必要であり、2～4週間程度の入院が必要です。命に別状はありません。現在、県西部地区の病院で治療を受けています。

これまでの調査では、現時点で、いじめの事実はありません。転落直後、警察が学校に入り、教員や子どもたちに事情を聴取しました。原因など、詳細につきましては、現時点ではわかりません。転落した生徒の快復を待って本人から丁寧に聴き取りを行ない、外部の専門家の意見をいただき、調査を行なってまいります。

生徒の転落が、3ヶ月の間に続いていることについて、関係性は明確ではありませんが、男女関係のもつれなどではありません。学校は、心のケアを中心にカウンセラーの力を借りて全力で取り組んでまいりましたが、このようなことが起こり、生徒及び教員の動揺はあまりあるところではあります。早急に精神的なケアを行なうことが必要であると考え、県にカウンセラーの緊急派遣を要請し、3名のカウンセラーが派遣されています。緊急事態、重大事案でありますので、教育委員会としましては、緊急に医師や臨床心理士などの専門家を集め、更なる対策を講じ、また、カウンセラーの増員を行なっていきます。

重ねて申し上げますが、まずは、本人、保護者の心のケア、子どもたちの心のケアを引き続き大切にしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

<質疑・意見>

○転落した生徒が復帰しやすい環境や、それを受け入れる生徒の心のケアをお願いしたい。

また、教職員の心のケアについてもお願いしたい。

○生徒の転落が2回のため、生徒たちの不安は増えると思う。3回目を出さないように、引き続き心のケアをお願いしたい。

また、心のケア以外の対策も講じてもらいたい。例えば2階に転落防止ネットを設置するなど、目に見える対策も考えていただければと思う。

○命の大切さを伝えることは、生徒だけではなく、親、地域にも必要であると考えます。特に親に対して伝えることは必要である。大変だと思うが、対応をお願いしたい。

○今後も引き続き生徒や教職員の心のケアに努めていきます。

教育委員の皆様からいただいたご意見を参考に、具体的な防止策を考えていきたいと思っております。今後も何かお気づきの点がありましたら、お知らせいただきたいと思っております。

4 閉会